



歯の跡も味 安心できる木のおもちゃ

大竹美里さん・竜ノ介ちゃん(2歳3カ月)
-岡谷町-

歯が生えて動き回るようになった今では、てんぐつみきをかじったりたいたりしています。木は柔らかくおもちゃについて歯の跡も味があるなど感じ、今でもただよう杉のほのかな匂いに癒やされています。

プラスチックのおもちゃは割れることがあり安全面を気にしがちでしたが、てんぐつみきは接着がとれることもなく、角が丸くなっているので安心して遊ばせています。1人遊びもできるようになり、今はドミノ倒しがお気に入りのようです。

大工の父の現場に子どもを連れて行くと、より木に興味を示すようになりました。まちなかでてんぐを見つけると反応して両手で長い鼻を表現するようになり、てんぐつみきを通して日常のさまざまなものに興味を示す姿も見られるようになりました。

てんぐつみきに親子で夢中

てんぐつみきの受贈者から
遊び方や木育に対する意識などを聞きました



沼田らしいてんぐの形 遊び方いろいろ

小泉順一郎さん・茉奈美さん・花奈ちゃん(6歳)
美陽ちゃん(3歳)・灯莉ちゃん(0歳10カ月) -下川町-

次女の出産でプレゼントされ、本人は毎日、口に入れたりかんだりして楽しんでいます。上の子たちは積んだりつなげたり赤ちゃんに持たせたりと、年齢関係なく一緒になって遊んでいます。

私たち親がもともと木の温かみが好きで、子どもにはよく木のおもちゃを買ってあげていました。てんぐつみきは沼田らしさが出てユニークで、今までに見たことのない独特な形にかわいらしさを感じました。「どうやって積むのだろう」と不思議でしたが、変わった形だからこそ工夫していろいろな遊び方を考えている様子がほほ笑ましいです。

複雑な形の積み木でもお片付けは簡単で、子ども1人で木製のトレイにきれいに収納できます。木が割れて食べる心配もないので安心です。



2



1

保育施設で初のウッドスタート 五感を育む学びの場

ひだまり保育園(社会福祉法人久仁会)は2017年7月の開設と同時に、ウッドスタートを宣言をした市内で唯一の保育施設です。園の理念に木育を掲げて、施設に木材を使い木のおもちゃを使った遊びを取り入れるなどしています。

※てんぐつみきの遊び方をリサーチするため、試験的に積み木を貸し出し遊んでもらっています

1.きれいに整列させよう2.どこまで高く積めるかな3.画用紙で作ったさまざまな大きさのてんぐに積み木をはめよう4.木のプールの人気5.ポウリングでてんぐを倒そう



5



4



3

1011243

木育インストラクター養成講座

木で作って遊ぶ心地よさを体感し、木製品を保育や暮らしへ取り入れる意義や子どもたちへの伝え方を学びます。



申し込みフォーム

とき 10月15日(土)
午前10時~午後4時15分
ところ 白沢支所3階多目的ホール
対象 市内在住または在勤、保育などに従事または学習中、木育に興味がある、子育てに役立てたい人
受講料 無料

申込み 申し込みフォーム、申込書をファクス24-5179、またはメール(nourinsin@city.numata-gunma.jp)
問合せ 農林課森林整備係 内線5011

1012333

木育インストラクターフォローアップ講座

木育インストラクター認定者を対象に、より実践的なプログラム作りを学びます。

とき 10月16日(日)
午前10時~午後4時
場所 テラス沼田5階 Waltz ホール(議場)、沼田公園
申込期限 10月5日(水)
受講料 無料
申込み・問合せ 左記講座と同様

園は木育のほか、食育や音育、自ら学ぶ力を育むヨコミネ式保育を理念としています。五感を十分に満たした共同生活を送りながら、子どもの視点を大事にして一緒に触れ合っていきたいと思っています。

子どものお気に入りには、積み上げたてんぐつみきを打って落とすだるま落とし、並べた積み木をボールで倒すポウリングです。仲良く協力してさまざまな遊びを考えている姿から、おもちゃを通して豊かな創造力が育まれていると感じています。家庭でもてんぐつみきで遊ぶといった子どももおり、木育が浸透しつつあるのは喜ばしいことです。

同園は0歳から5歳までの6クラスで、それぞれのクラスでてんぐつみきを使って遊んでもらっています。0歳は木になじむ、触れる、香りを楽しむといったことから始めて、年齢が上がるにつれて積み、並べるなどして楽しんでいます。



ひだまり保育園
園長 新木恵一さん

木との触れ合い
豊かな創造力を鍛えて